

# 有斐閣 新刊案内

2021

7

---

法律学の始発駅

---

オリンピック・パラリンピックから考える スポーツと法

---

事例でおさえる民法 改正債権法

---

フランス新契約法

---

家族と刑法

---

伴走型支援

---

企業家研究 第18号 (2021)

---

書齋の窓 7月号《第676号》

---

法学教室 7月号《第490号》

---

ジュリスト 7月号《第1560号》

---

表示価格は税込です。

予価・内容は変更になる場合があります。

since 1877



有斐閣

## ここから法律学の世界に旅立とう！

(7月下旬発売予定)

はせべやすお  
長谷部恭男 著  
早稲田大学教授

# 法律学の始発駅

四六判並製カバー付  
208頁  
予価1,980円(税込)  
978-4-641-12628-2

法とは一体何か、法と道徳との違いはどこにあるか、裁判では何が問題とされるかといった点を叙説して、初学者に法律学の世界の道案内を示す。基礎的な法律用語や著名法学者についても簡潔に説明。法学部以外の教養課程・教職課程における法学の教科書としても最適。

### 主な目次

- |                       |                             |
|-----------------------|-----------------------------|
| 第1章 法は何のためにあるか        | 第9章 裁判(2)—— 尊属殺重罰規定違憲判決で考える |
| 第2章 法の支配              | 第10章 裁判(3)—— 森林法共有林事件で考える   |
| 第3章 法と道徳              | 第11章 憲法は法か                  |
| 第4章 法の限界              | 第12章 多数決                    |
| 第5章 いろいろな法分野          | 第13章 二重効果                   |
| 第6章 法律                | 終章 法律家の共同体                  |
| 第7章 裁判(1)—— 苦米地事件で考える |                             |
| 第8章 解釈                |                             |

## 今、オリンピックには「法」が欠かせない。

(7月中旬発売予定)

はやかわよしひさ  
早川吉尚 編  
立教大学教授、弁護士、スポーツ仲裁裁判所仲裁人

# オリンピック・パラリンピックから考えるスポーツと法

四六判並製カバー付  
152頁  
予価2,090円(税込)  
978-4-641-12629-9

法学教室のオリパラ連載が書籍化。オリンピック・パラリンピックを契機としてスポーツの世界がいかに「法」と結びついているかを学べる全く新しい一冊。研究者・実務家双方の視点から、スポーツ法に関する最新の情報を徹底的に解説。

### 主な目次

- 1 本書の趣旨と全体像 (早川吉尚) / 2 IOCって何? (濱本正太郎) / 3 選手選考と紛争解決 (小川和茂) / 4 スポーツ競技団体の裁量権と行政法的思考—— 選手選考を中心に (興津征雄) / 5 アンチ・ドーピング・ルールの目的と手続 (宍戸一樹) / 6 アンチ・ドーピング・ルールの実体面—— 違反類型と制裁措置 (宍戸一樹) / 7 選手選考紛争と手続代理 (杉山翔一) / 8 アンチ・ドーピング紛争と手続代理 (高松政裕) / 9 スポーツ選手とパブリシティ権 (上野達弘) / 10 性と障がいから考えるスポーツと憲法 (南野 森) / 11 国際スポーツ団体を巡る「不正」 (早川吉尚) / 12 オリンピック延期を巡る法的問題 (早川吉尚)

## 新法の理解を支え、問題解決力を養う

(7月下旬発売予定)

いそむら たもつ  
磯村 保 著

早稲田大学教授

# 事例でおさえる民法 改正債権法

A5判並製力バー付  
350頁  
予価3,300円(税込)  
978-4-641-13850-6

平成29年改正後の債権法を实践で“おさえる”！ 主要な論点につき、具体的な設例とその帰結を通して学ぶテキスト。流れるような行き届いた解説が、知識と思考をすっきりと整理する。民法を得意にしたい法科大学院生、学部生、実務に携わる人のための1冊。

### 《主な目次》

- |  |                           |
|--|---------------------------|
| 第1講 法律行為と意思表示                          | 第9講 許害行為取消権               |
| 第2講 代理                                 | 第10講 多数当事者の債権関係(1)——保証を除く |
| 第3講 法律行為の無効・取消しと原状回復義務                 | 第11講 多数当事者の債権関係(2)——保証    |
| 第4講 時効                                 | 第12講 債権譲渡と債務引受            |
| 第5講 契約上の債務不履行(1)——履行不能                 | 第13講 弁済その他の債務消滅原因         |
| 第6講 契約上の債務不履行(2)——履行遅滞、履行拒絶及びその他の債務不履行 | 第14講 売買契約                 |
| 第7講 弁済の提供、種類物の特定と受領遅滞                  | 第15講 賃貸借契約                |
| 第8講 債権者代位権                             | 第16講 請負契約                 |

## フランス契約法を知るための一冊

(7月下旬発売予定)

フランスワ・アンセル、ベネディクト・フォヴァルク=コソソ 著 さいとうてつし なかはらたろう 齋藤哲志、中原太郎 訳  
パリ控訴院国際商事部部長・元司法省参与、国務院判事・元パリ第2大学教授 東京大学教授、東京大学教授

# フランス新契約法

A5判上製力バー付  
350頁  
予価6,380円(税込)  
978-4-641-04829-4

フランス契約法改正の立案担当者が著した実務者向け解釈指針『Le nouveau droit des contrats』の翻訳書。原著とのページ対応を示して相互参照をしやすくしたほか巻末に改正法主要条文の翻訳も掲載した研究者必携の一冊。

### 《主な目次》

- はじめに
- 第1部：改正の来歴・過程・射程 第1章：「仏欧 (franco-européenne)」／第2章：改正の過程  
／第3章：改正の射程
- 第2部：新契約法の境界 第1章：新契約法の時間的境界／第2章：当事者の意思と新契約法との境界；強行規定と補充規定／第3章：一般法と特別法との境界／第4章：涉外契約へのフランス法の適用
- 第3部：新契約法の論点 第1章：法的安定性／第2章：契約及び契約の一般法の新たな理解／第3章：裁判官の役割
- 第4部：象徴的な諸規定の検討 第1章：契約法の一般原則／第2章：法律規定による契約締結過程の枠付け／第3章：契約の有効性に関する新たな規律／第4章：契約の不履行に関する新たな規律／第5章：その他の改正点
- 結語 フランス新契約法と諸法の取斂
- 条文翻訳  
事項索引

## 「家庭」という場で生じる刑法的な問題を涉獵する (7月下旬発売予定)

ふかまちしん や  
深町晋也 著  
立教大学教授

# 家族と刑法

家庭は犯罪の温床か？

A5判並製カバー付  
270頁  
予価3,080円(税込)  
978-4-641-13951-0

従来「法は家庭に入らず」の典型であった刑法が、近時はDVや児童虐待など家庭で生じる様々な問題事象に介入している。「家族構成員を守る場」である家庭が「犯罪の温床」にもなるとの刑法研究者の問題提起を中心に、民法研究者のコメントが添えられる意欲作。

《主な目次》

- 第1回・第2回 DVの被害者が加害者に反撃するとき (その1・その2)
- 第3回・第4回 児童が家庭の中で性的虐待に遭うとき (その1・その2)
- 第5回 家庭において児童ポルノが作り出されるとき
- 第6回 児童が家庭でタバコの煙に苛まれるとき
- 第7回 家族によって自分の大切なものが奪われるとき
- 第8回・第9回 両親が子どもを巡って互いに争うとき (その1・その2)
- 第10回 死者がその家族によって弔われないとき
- 第11回 子どもが親による保護を受けられないとき
- 第12回 子が親から「しつけ」を受けるとき
- 第13回 妊婦が妊娠中絶に関する情報に接するとき
- 第14回・第15回 親が子に予防接種を受けさせないとき (その1・その2)

コメント 石綿はる美

## 孤立させない「つながる」支援へ

(7月下旬発売予定)

おくだともし ほらだまさき  
奥田知志・原田正樹 編  
NPO法人抱撲理事長、教師・日本福祉大学教授

# 伴走型支援

新しい支援と社会のカタチ

A5判並製カバー付  
200頁  
予価2,200円(税込)  
978-4-641-17466-5

困窮や孤立、今日的なニーズへの支援として「伴走型支援」への期待が高まっている。この支援を通して社会はどのように変わるのか。10名のパイオニアが実践や研究の中から紡ぎ出す貴重なメッセージから、その概念や方法、課題や可能性について多面的に考える。

《主な目次》

- 第I部 伴走型支援を考える
  - 第1章 伴走型支援の理念と価値 (奥田知志) 第2章 なぜ伴走型支援が求められているのか (稲月正) 第3章 単身化する社会と社会的孤立に対する伴走型支援 (藤森克彦)
- 第II部 人と地域に伴走する支援
  - 第4章 伴走型支援と地域づくり (勝部麗子) 第5章 アウトリーチと伴走型支援 (谷口仁史) 第6章 越境する伴走型支援 (大原裕介) 第7章 日本における伴走型支援の展開 (原田正樹)
- 第III部 新しい社会を構想する
  - 第8章 伴走型支援と当事者研究 (向谷地生良) 第9章 伴走型支援は本当に有効か (野澤和弘) 第10章 伴走型支援がつくる未来 (村木厚子)
- 終章 あらためて伴走型支援とは何か——物語の支援 (奥田知志)

# 企業家研究 第18号

B5判並製  
86頁  
予価3,300円(税込)  
978-4-641-49970-6

時代が変わるとき、社会で、地域で、イノベーションを興し、遂行する企業家精神が必要とされる。学問研究の垣根を越えて、経済社会の活力を問うユニークな学会の機関誌の最新号。

《主な目次》

- 【論説】 災害は開業を増加させるのか？ 東日本大震災の事例による実証分析 = 岡室博之・猿樂知史
- 【研究ノート】 起業家と研究者の関わり合い——起業家研究の方法としての二人称的アプローチと共倫的な道具 = 伊藤智明・福本俊樹
- 【特集 流通業と企業家活動 論説】 流通業と企業家活動 = 廣田 誠  
明治期日本における流通構造の変容と海運業者——野坂家と白銀家の事例 = 中西 聡
- 【書評】 伊丹敬之『直感で発想、論理で検証、哲学で跳躍——経営の知的思考』 = 星久仁子  
中島裕喜『日本の電子部品産業——国際競争優位を生み出したもの』 = 島本 実  
山田幸三編著『ファミリーアントレプレナーシップ——地域創生の持続的な牽引力』 = 奥村昭博
- 【学会記事】 2020年度企業家研究フォーラム賞の選考について  
会務報告 (2020年度)

PR誌 読者と著者を結ぶ…

(7月1日発行)

# 書齋の窓

7月号  
(第676号)

A5判並製 定価：無料

《主な目次》

- 【巻頭のことば】 原因を探る作法を通して〈今〉を読む②冷静と情熱のあいだ = 久米郁男
- 【法律・政治】  
(連載)  
平らな鏡で世界を見れば⑦国境と時差のある世界 = 辰井聡子  
憲法と学校②親の教育する権利と憲法(その1)——権利具体化法律としての親権法 = 木村草太  
奴隷と法と裁判④古代ローマの奴隷制度 = 能見善久  
(自著を語る)  
『法学入門』の特徴・読み方・使い方——法を学ぶためのブックガイドとともに = 興津征雄  
『刑法の時間』 = 橋本正博  
通史を通して対話を試みる——『日本政治史講義——通史と対話』を書き終えて = 御厨 貴
- 【経済・経営】  
(連載) ワーク・デザインの過去・現在・未来③社会性への注目 = 高尾義明  
(自著を語る) 『変貌する日本のイノベーション・システム』 = 鈴木 潤  
(書評)  
イノベーションプラットフォームと取引プラットフォームの違い——『プラットフォームビジネス』の着眼 = 根来龍之
- 【人文・社会】  
(リレー連載) 学生と教員のパラレルワールド——学生相談は水先案内となりうるか⑤  
『お金が足りない』経済の問題で大学を去る学生たち(事例3) = 今村理恵・橋本和幸  
(自著を語る)  
新しい「始まり」の東京を考えるために(『都市に聴け——アーバン・スタディーズから読み解く東京』 = 町村敬志  
(書評) 『雇用関係と社会的不平等——産業的シティズンシップ形成・展開としての構造変動』 = 竹ノ下弘久

会社法重要改正に対応

# ポケット六法 令和3年版

編集代表 さえきひとし 佐伯仁志・おおむらあつし 大村敦志  
中央大学教授 学習院大学教授

\*収録法令 204件

B6判 並製箱入 2,038頁 ●2,090円(税込) 978-4-641-00921-9

- \*法学の講義から日常実務まで必要な基本法令をもれなく収録
- \*最新の改正条に傍線付加
- \*重要法令は大文字・理解を深める参照条文・便利な事項索引付き
- \*メールサービス「ポケ六通信」への登録で、刊行後の改正情報を配信
- \*丈夫で開きやすいしなやかな造本
- \*ご希望の方に小冊子『有斐閣六法の使い方・読み方』を贈呈

## 《令和3年版の特色》

- ◇労働施策推進法、特許法による査証の手続等に関する規則等を新たに収録
- ◇会社法、著作権法、個人情報保護法等重要改正に対応
- ◇会社法改正前の規定を新規定に併記
- ◇参照条文・事項索引等充実した編集内容

〈新収録法令〉労働施策推進法、特許法による査証の手続等に関する規則、民法第四百四条第三項に規定する期及び同条第五項の規定による基準割合の告示に関する省令、民法第四百四条第五項の規定に基づき、令和二年四月一日から令和五年三月三十一日までの期における基準割合を告示する件

〈主な改正〉会社法、著作権法、個人情報保護法、公益通報者保護法、金融サービスの提供に関する法律（旧：金融商品の販売等に関する法律）等



978-4-641-12626-8

**条文の読み方 第2版** 法制執務・法令用語研究会／著 四六判並製222頁 990円(税込)

六法の、最強“バッテリー”!!

法律（条文）の構造や成り立ち、頻出の基本用語（法制執務用語）の意味や違いがしっかりとわかる、法学部生をはじめ六法を手にとる人のための必携バイブル。

定期購読がお得です!

毎月

28

日発売!!

# 定期購読 のご案内

# 法学教室

定額制

1年間12冊, 2年間24冊を  
定額で購読できます。

1年間毎号購入した場合

1万8828円 (定価1569円)

購読期間

定期購読料金

割引率

1年定期《12冊》

1万4100円

25%

2年間毎号購入した場合

3万7656円 (定価1569円)

購読期間

定期購読料金

割引率

2年定期《24冊》

2万7500円

27%

定期購読料には送料・消費税(10%)が含まれています。

詳細は弊社ウェブサイト <http://www.yuhikaku.co.jp/> 「法学教室-定期購読のご案内」をご覧ください。

お問合せ先 有斐閣サービスセンター 定期購読係

〒351-0014 朝霞市膝折町4-9-7  
電話 048-465-8321

使える  
雑誌

# 定期購読のご案内

法律実務のパートナー

# 月刊 ジュリスト

毎月 25 日発売

定価1,569円

Monthly | Jurist

ジュリストの特色

■「ビジネスロー」を中心とした特集と判例記事を中心に、日常業務に直接的に生かせる法律情報誌。

■無理なく読みこなせる工夫を随所に施し、日常で実際に学べる・使える情報をお届けします。

■各年度の重要判例を精選し、解説・総覧する「重要判例解説」を、臨時増刊号として年1回刊行。

期 間

料 金

定価より

1年定期 13冊

17,000円

23%  
OFF

期 間

料 金

定価より

2年定期 26冊

32,300円

27%  
OFF

(臨時増刊「重要判例解説」含む)

詳細は弊社ウェブサイト <http://www.yuhikaku.co.jp/> 「ジュリスト-定期購読のご案内」をご覧ください。

お問合せ先 有斐閣サービスセンター 定期購読係

定期購読料には送料・消費税(10%)が含まれています。  
〒351-0014 朝霞市膝折町4-9-7 電話 048-465-8321

定期購読がお得です!



2021.  
7 July  
NO.490

学習が進む，理解が深まる。法学がもっと面白くなる。

# 法学教室 HOGAKU KYOSHITSU

6月28日発売  
B5判  
定価1,569円  
(本体1,426円)

【特集】 条文だけではわからない民法の解釈

- I 表見代理における相手方の善意・無過失と「正当な理由」●野々上敬介
- II 無権代理人の責任●佐々木典子
- III 特定物の引渡しをなすべき状態●古谷貴之
- IV 債務の履行に代わる損害賠償債務と反対給付債務の同時履行の抗弁権●松井和彦
- V 通常損耗や経年劣化による損傷の原状回復義務●森山浩江
- VI 子の養育費の支払請求●羽生香織

巻頭言●橋爪 隆  
法学のアントレ●緒方桂子  
未来志向で学ぶ外国法「フランス」●村田健介

〈法学教室プレイバック〉〔創刊40周年記念連載〕  
環境法●清水晶紀／労働法●石井保雄

〈オリ・パラから考えるスポーツと法〉  
「特別座談会〈後編〉」  
●早川吉尚・興津征雄・南野 森

〈時の問題〉

「デジタルプラットフォームの公共性と表現の自由」●平地秀哉

〈判例クローズアップ〉

「宗教的施設に対する公有地の使用料免除と政教分離（最大判令和3・2・24）」  
●高畑英一郎

講 座  
憲法 教科書のその先へ●曾我部真裕  
行政法教室●渡井理佳子  
日本家族法を考える●水野紀子  
ケースで探索・会社法●伊藤靖史  
知的好奇心を刺激する民訴法●林 圭介  
刑法総論の基礎にあるもの●安田拓人  
事例から考える刑事証拠法●川出敏裕ほか

演 習  
憲法●佐々木くみ／行政法●戸部真澄  
民法●川田宏行／商法●松中 学  
民訴法●安西明子／刑法●嘉門 優  
刑訴法●吉開多一

〈判例セレクトMonthly〉  
憲・行・商・刑・刑訴／計5件

# ジュリスト

No.1560 7月号

定価1,569円  
(本体1,426円)

発売  
6月25日  
B5判

## 特集・国境を越える不法行為と実務上の課題

特集にあたって……………横溝 大  
国際的管轄合意と我が国独禁法の適用  
……………加藤紫帆  
民事上の損害賠償請求における我が国独禁  
法の適用……………中西 康

国境を越える営業秘密侵害に関する抵触法  
的考察……………嶋 拓哉  
家族の国際的移動と不貞行為に基づく損害  
賠償請求……………中村知里  
「ビジネスと人権に関する指導原則」と抵  
触法……………横溝 大

〈連載〉

新・改正会社法セミナー④  
「企業集団・株主総会」  
……………藤田友敬・澤口 実・  
三瓶裕喜・田中 亘・  
長谷川顕史・松井智予

〈時論〉

引受証券会社のゲートキーパー責任  
……………梅本剛正  
経済的自由にかかる憲法判断  
……………二本柳高信

BOOK TERRACE